

※解答はすべて解答用紙に書くこと。

※字数制限のある問題は、特に指定のない限り、句読点や記号も字数として数えること。

【一】 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

野球部のみんなが桜田をキャプテンに選出した。

キャプテンになりそこねたレフトで四番バッターの笠原は顔を真っ赤にしてみんなをにらみつけた。

キャプテンに立候補した笠原は、もうキャプテンになったも同然と高をくくり、

【I】

笑いをみせていた。

身体がでかくて腕力が自慢の笠原は、暴力をちらつかせて自分の言動を押しとおしてしまふ恐怖支配崇拝主義者だ。なにか気に入らないことがあるとすぐに暴力で話をつけたがる。

【②】

だれも面と向かつては笠原に逆らわなかった。

【⑤】 結果はたったの一票だった。

怒り狂った笠原は翌日の練習に姿をみせなかった。その次の日の練習にもやってこなかった。顧問の中川先生が、笠原はどうした？ とキャプテンの桜田にきいた。桜田は笠原が昨日の練習にもこなかったし、

今日もどうして休んだのかわからないと答えた。①中川先生は顔をしかめた。

「お前たちそれでいいのか？ 二日もだまって練習を休まれてなにもいわなくていいのか？ みんなのチームだろうが。笠原一人が好き勝手してもいいチームなのか？ 四番バッターだから無断で練習を休んでもいいのか？ 明日練習にきたらなんというつもりだ。どうなんだ、桜田。キャプテンだろうが」

「あの、いや、やっぱり、笠原は四番バッターだし、ちゃんと練習にでてくれといひます」

桜田はしどろもどろに答えた。

「中心選手だったら、チームが必要とする選手だったら、みんなできめた練習をだまって休んだとしてもちゃんと練習にでてくれてお願いするっていうのか？ 勝つためにはお前たちをなめてかかっているやつでも必要なのか？ そんなチームで野球やっておもしろいか？ みんなも桜田と同じ意見なのか？ そうだとしたら情けないやつらだぞ、お前らは。やる気がなかったら野球部を辞めろと笠原にいつてこい！」

中川先生はぼくたちを軽蔑するようににまわした。

ずばりと道理を口にしたので、さすがに大人のいうことはちがうと大いに中川先生を見直した。【③】三

年生だけが自転車で笠原の家にでむいた。農作業の手伝いで家にいないかもしれないと思ったけど、笠原は家にいた。部屋でプラモデルを作っていると母親が笠原を呼びにいった。

「なんだよー」

【②】 玄関にでてきた笠原はふてぶてしくニヤニヤ笑った。バツの悪そうな笑いではない。

「野球部のことでしょと話があつてきたんだ。俺たちのことだから外で話そうぜ」

と、【③】 東井がいい、笠原が外にでてきて東井がぼくたちの考えを伝えた。野球をやる気があるのかないのか、あるのなら休むときはちゃんと休む理由をキャプテンにいえ、やる気がないのなら部を辞めろ、と。笠原は一瞬うろたえたような表情をみせたけど、すぐに怒り狂ったものすごい形相に変わった。ぼくたち

をにらみまわして縮みあがらせようとした。全員がひとつになっていたので恐怖心はわかなかったのだ。

「どうなんだ」

東井はまっすぐに笠原と向かいあつていった。一頭の大いなる恐竜は火花をちらしてにらみあつた。ほんの短い時間だったけど、重苦しい、危険が充満した長い時間に感じられた。どっちも一歩もひかない構えだ。東井のうしろにはぼくたち三年生が全員のいたけど、東井も笠原もぼくたちは眼中にないといったようににらみあつている。あまりの迫力に、ぼくたちの口は接着剤でくっつけられたように閉じられたままだ。

「い、いつしよに野球やろうぜ」

【④】 輪島の声が二人の間に割って入ったので、ぼくたちはびくりして輪島をみた。輪島のやつが野球部のことで自分の意見を述べるなどいまだかつてなかったことだ。なにをいいたのかと、【④】 笠原と東井も輪島をみつめた。

「お、俺は試合にでられないと思うけどよ、みんなで、県大会にいつて、優勝したいんだ。辞めてほしくないんだ。みんなも、そうなんだ。いつしよにやりたくて、きたんだ。いつしよに、野球やろうぜ」

輪島がこのことをいわなかったら、ぼくたちの野球部は空中分解していたにちがいない。輪島の言葉は、俺たちはみんな野球が大好きな仲間じゃないか、という強い大きなきびきびと響いて、笠原とぼくたちをつないだ。ぼくたちの緊張がとけていった。全員の目つきがおだやかになっていった。

「ちよつと熱っぽくなつて調子が悪かったただだよ。熱がさがったら練習にでるよ。わかつたらさつさと帰れ！」

笠原は捨てゼリフを吐き、玄関に入つて乱暴にドアを閉めた。

帰り道、【⑤】 ぼくは自転車を走らせながらうれしくてしかたがなかった。笠原が戻ってくるこゝとなつてほつとしたけれど、そのことがうれしかったのではない。補欠の補欠だけど、輪島は立派な野球部員だとみんなが認めた日だった。

(川上健二『翼はいつまでも』・一部改変)

問一、空らん【④】、【③】、【④】に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(ただし、同じ記号を二回以上使つてはいけません。)

ア きつと イ だけど ウ ふいに エ しいに
オ つまり カ だから キ さつそく ク そのうえ

問二、空らん【I】にあてはまる言葉として最も適当なものを次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

ア 不安そうな イ 余裕の ウ 不自然な
エ うれしそうな オ 緊張の カ いやみな

問三、線部【①】「中川先生は顔をしかめた」を次のようにいいかえた時、空らんにあてはまる、「し」ではじまる言葉を、ひらがな六字で答えなさい。

・中川先生は【し】ではじまる・ひらがな六字で【 】をした。

問四、―線部②「玄関にでてきた笠原はふてふてしくニヤニヤ笑った」とありますが、この時の笠原の気持ちとして最も適当なものを次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

ア 「部活動を辞める」といわれるのではないかと、という不安を表に出さないように努めている。
イ 部活動を休み、自由な時間を感じる存分楽しんでいる。

ウ みんなが「戻ってきてほしい」と頼んでくるだろうと考えている。

エ 先生にいわれて自分の所に来る野球部員をばかにしている。

オ プラモデル作りにも飽きていたところだったので、することができて喜んでいる。

問五、―線部③「東井」とありますが、この文章から読み取れる「東井」という登場人物の説明として最も適当なものを次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

ア 身体が大きく、いいにくいこともはつきりという人物。

イ ふだんはおとなしいが、怒ると非常にこわい人物。

ウ 大胆な性格で、細かいことにこだわらない人物。

エ 物事をはつきり言いすぎるため、まわりとぶつかることが多い人物。

オ 好き嫌いが激しく、またけんかつ早い人物。

問六、―線部④「笠原と東井」を異なった言葉で表現しているものを文中から五字以上十字以下で抜き出して答えなさい。

問七、―線部⑤「ぼくは自転車走らせながらうれしくてしかたがなかった」とありますが、何がうれしかったのですか。最も適当なものを次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

ア これまで見たことのない、笠原の恥ずかしそうな、弱々しい姿を見られたこと。

イ 輪島のおかげで野球部が分解せずに、これからも試合に出られるのだという事実。

ウ これまでずっと、自分のいいたいことをいえずにつらそうにしていた輪島の成長。

エ 補欠の補欠である輪島の、部活動や仲間に対する強い気持ち。

オ 補欠の補欠である輪島のことを同じ野球部員だと認めてくれた、みんなの優しさ。

問八、本文において、「ぼくたちはひるまなかつた」という一文が抜けています。この一文を入れるのに最も適当な所を探し出し、その直前の五字を答えなさい。

問九、もしあなたがこの野球部の一員だったなら、この後「輪島」にどんな言葉をかけますか。直接「輪島」に語りかける形で、六十字以上八十字以下で書きなさい。

二 次の―線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

① イシツ物を取りに行く。

② エイセイ管理をこころがける。

③ ハチのタイグンを見た。

④ 自由を強くキキウする。

⑤ 意味シンチョウな言葉。

⑥ 南山では人間のソングンを大切にしている。

⑦ 人事イドウで部署がかわった。

⑧ このビルの屋上はデンプウがよい。

⑨ 汽笛を鳴らして走る列車。

⑩ 旅の行程を確認する。

三 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

ある役者が言っていたが、演技で一番むずかしいのは「笑うこと」だそうだ。怒ったり、泣いたりすることの方がずっとやさしい。怒るや泣くということは、たとえ心にそういう感情がなくても演技できるが、「笑う」ということは、I……まあ、そういう意味なのだろう。コンプレックスを持つている人なども、なかなかうまく笑えない。笑おうとすれば引きつったような、むりな笑い方になる。頬をピクピクさせながら笑う人がいるが、たいていは何かしらコンプレックスを持つている人だ。それはともかく、①コンプレックスがあるということ、あまりむずかしく考えなくてもいい。コンプレックスに悩む人は若い人に多いが、それは人間的に成長し、物事を今までは違った視点でとらえられるようになり、環境や立場が変わるにつれて、知らず知らずのうちに消えてなくなってしまうものだ。ときがたてば、「あのころの私は、なぜあんなことを気に病んでいたのかしら」と考えられるようになる。だから、あまり思いつめないこと。②A、自分がコンプレックスに思っていることを笑い飛ばせるようになってもらいたい。そのくらいの意気込みで、心たくましく生きてもらいたいのだ。

その人の笑顔を見ているだけで、こちらまで気持ちよくなってくる。明るい気分になってくる……そんな人がいる。どういう人かといえば、一口で言えば、「自分を大切にしている人」といえるのではないだろうか。お酒を飲みすぎて体を壊したり、するべきことをすぐにしないで後回しにして首が回らなくなったり、何事にも投げやりな態度で生きている人の笑顔というのは、どこか暗くよんだ印象を人に与えるものだ。自分を大切にする。それは、物事を慎重に考える、慎重に行動するということにもつながる。逆に横暴な人、粗雑な人、良く考えもせず行動する人、③B、意地、見栄、嫉妬に気持ちを取られて、行動する人。これらはすべて、Aとの関係において、じつはBの感情や考えのようであり、その実、Cの存在によってDが動かされている。これもまた、自分を大切にしていけないということだろう。残念ながら、こういう人は、心からおおらかに笑うことが難しい。

仲の良い友人たちと④心置きなく、楽しく笑いあえるのは、どんな話をしてるときだろうか。私の場合は、⑤趣味の話をしてるときである。同好の人と、飛行機、列車、船などの乗り物や、旅行の話に花を咲かせているときである。趣味の話に夢中になっていると、仕事のことやいやら出来事のこともすっかり頭から消えてくれるから、ほんとうに心置きなく笑うことができる。趣味のない人はどうだろうか。たとえばだれかをやり玉にあげて、その人の悪口でも言って、笑うしかないかもしれない。⑥これは「気持ちのいい笑い」とは違うだろう。口は笑っているが目は笑っていない……そんな笑いである。散々笑った後で、「ああ、あ」と、ため息が出てしまうような笑いである。どうせ笑うなら、気持ちよく笑

いたい。「今日は楽しい一日だったなあ」と心地よい余韻が後々まで残るように笑いたい。

楽しく笑いながら生きていく。そのために最も大切なことは、やはり「円満な人間関係」だろう。友人、家族、仕事仲間……そういう人たちとうまくやっていけてこそ、思う存分に楽しく笑えるのである。私はへたなダジャレや、ジョークがかなり好きな方だが、じつは、笑顔を生むために、そんなものは必ずしも必要ではない。おだやかな、あたたかい人間関係に囲まれながら生きていくことが出来れば、それだけで笑顔の花は、そこらじゅうに咲き乱れてくれるのだ。円満な人間関係、そしてのびやかな笑顔にあふれた人生のためにも、ぜひ、周りにいる人を大切に思いながら生きていってもらいたい。自分のことにしか念頭がない人、人を大切に思わない人、そういう人は、人から嫌われる。人から嫌われているという人は、いつも不平や文句ばかり言っている。ネガティブなことを言うのに忙しくて、楽しく笑う暇などないようだ。

不平や文句を言うのではなく、自分のことばかり考えるのではなく、人に感謝しながら生きていこう。誰にでも感謝するのがよい。「あの人は付き合えずらうなあ」と思える人にも、「あの人はどうしてあんなに威張り散らすのだろう」という人にも、「まったく気の利かない人だなあ」という相手にも、どこかに必ず美点はあるはずだ。それを見つけられれば「ありがと」だ。言い換えて見れば、そういうことのできる人は「人から嫌われる」ことなどない。だから私も愛されていく。

やさしい笑顔で「ありがと」という……このときは人の表情が美しく見えるときははないのではないだろうか。こういう人は、笑顔がよく似合う。「うつ」も寄り付かない。笑う門から「うつ」はもろろん、様々な病気が逃げていくのだ。「ときどきすり」という言葉を聞いたことがあるだろうか。漢字で書けば「時薬」で、つまり、時が経つにつれてみるみる体調が回復していく状態のことだ。「ひぐすり」も同じような意味だ、一日経つごとに病状がよくなることであり、こちらは「日薬」と書く。そういうことなら「わらいぐすり」という言葉もおそらくある。なくてもいい、③意味は分かるだろう。「笑い薬」とは、一生のお付き合いをしたいものである。

(斎藤茂太『笑うとなぜいいか?』・一部改変)

問一、空らん①、②、③、④に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(ただし、同じ記号を二回以上使ってはけません。)

ア やはり イ むしろ ウ しかし エ あるいは

問二、空らんIにあてはまるものとして最も適当なものを次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

ア 日常的に笑うことが少ないから、うまく笑えない
イ 演技に対していつも真剣に取り組んでいるので、うまく笑えない
ウ 怒ることや泣くことよりも声を出すことが少ないので、うまく笑えない
エ 笑うという感情を作り出すのがむずかしいので、うまく笑えない
オ 心からほんとうに楽しいと思わなければ、うまく笑えない

問三、線部①「コンプレックスがある」ということを、あまりむずかしく考えなくてもいい」とありますが、その理由として間違っているものを次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

ア コンプレックスは若い人には多いことなので、あまり悩む必要はない。
イ コンプレックスは時間の経過によって消えてしまうことがあるので、あまり悩む必要はない。
ウ コンプレックスは人によって違うものなので、あまり悩む必要はない。
エ コンプレックスは人間的な成長にとともに自然と消えていくものなので、あまり悩む必要はない。
オ コンプレックスを持つことは特別なことではないので、あまり悩む必要はない。

問四、空らんA、B、C、Dには、1「自分」か2「相手」のどちらかの言葉が入ります。最も適当なものをそれぞれ選び、その番号を答えなさい。

問五、線部②「心置きなく」の言葉の意味として最も適当なものを次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

ア 気がつかいながら イ 気がねすることなく ウ 気分をまかせて
エ うわのそらで オ 気を許すことなく

問六、線部③「意味は分かるだろう」とありますが、この「意味」として最も適当なものを次の中からひとつ選び、記号で答えなさい。

ア 日々自然と笑って過ごしているうちに、体調も良くなり、知らず知らずのうちに健康になっている……
イ 笑いたくないのに無理にでも笑うようにしているうちに、体調も良くなり、知らず知らずのうちに健康になっている……
ウ 楽しいことがあつたときにだけ思いっきり笑うようにしているうちに、体調も良くなり、知らず知らずのうちに健康になっている……
エ 他人を笑わせるようにおももしろいことばかりを言っているうちに、体調も良くなり、知らず知らずのうちに健康になっている……
オ おもしろい小説やテレビ番組を見ているうちに、体調も良くなり、知らず知らずのうちに健康になっている……
ウ 楽しいことがあつたときにだけ思いっきり笑うようにしているうちに、体調も良くなり、知らず知らずのうちに健康になっている……
エ 他人を笑わせるようにおももしろいことばかりを言っているうちに、体調も良くなり、知らず知らずのうちに健康になっている……
オ おもしろい小説やテレビ番組を見ているうちに、体調も良くなり、知らず知らずのうちに健康になっている……

問七、この文中のかぎかっこでくくられたものの中に現代のかなの表記方法として間違っているものがあります。それをさがし出し、例にならって正しいかたちに書き直さない。

例：「はな」を出した。 ↓ 答え 間違 い じ ↓ 正解 ぢ

問八、あなたが普段の生活の中で「笑い」によって自分が救われたことをその理由も含めて八十文字以上九十文字以下で書きなさい。

[illegible]

受験番号

氏	名

成績	

三											
問八						問七	問五	問四	問二	問一	
						間 違 い		A		㉑	
							問六	B	問三	㉒	
						↓		C		㉓	
						正 解					
								D		㉔	

二			
⑨	⑤	①	
	⑥	②	
⑩			
		⑦	③
	⑧	④	